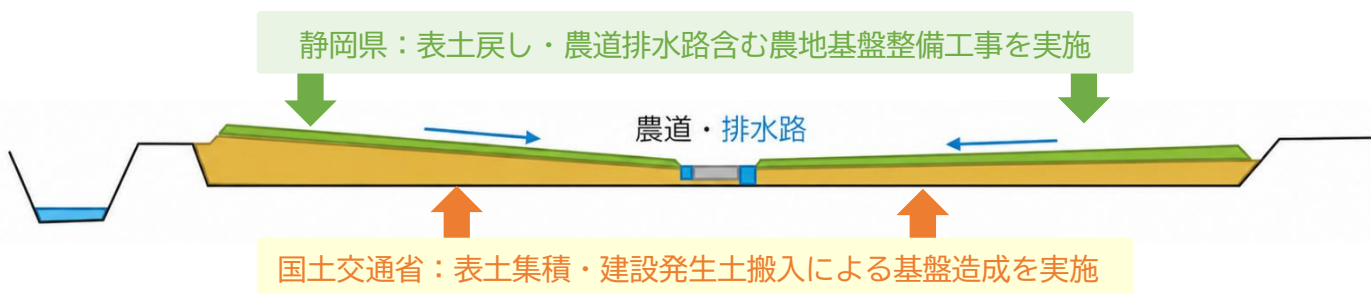


伊豆縦貫自動車道建設の“裏側”～国・県・関係市町の連携現場～

賀茂農林事務所では、担い手への農地集積及び高収益作物への転換、導入を促進し、安定的な農業経営を目指すことを目的に、水田を畑地化する事業を実施しています。

事業を実施する中で不足している基盤土を、国土交通省及び下田土木事務所から受け入れています。これにより、コストを抑えた農地基盤整備が行われています。



利活用推進に向けて県交通基盤部道路局道路企画課が主体となり

連絡調整WGを実施中！

国、県、関係市町が集まりワーキングが開催され、建設発生土に関する情報共有が行われています。

- 搬出地情報：全体土量、搬出スケジュール
- 受入地情報：受入可能土量、実施状況、受入スケジュール、受入条件（土質、施工区分調整、仮設等）

伊豆縦貫自動車道建設工事の発生土受け入れ最新レポート

現在、2地区で建設発生土の受入を実施しています。建設発生土の活用については、国土交通省、静岡県、関係市町の3者で覚書を締結し、建設発生土の発生区域や活用区域、搬入量や施工区分の確認が行われています。

■ 水利施設等保全高度化事業 竹麻地区

受入土量：11万m³

表土の集積が完了し、国土交通省が伊豆縦貫自動車道建設工事により発生した建設発生土を搬入しています。



■ 農地中間機構関連農地整備事業 湊地区

受入土量：4万m³

昨年度、一部区画において表土の集積を実施し、下田土木事務所の建設発生土を受入、仮置きしています。現地では、今年度の受入に向けて、測量作業が実施されていました。



土が出る工事、土が欲しい工事は、静岡県建設発生土マッチングシステムにてご確認いただけます。ぜひご利用ください。

静岡県建設発生土
マッチングシステムは
こちら→

